

株式会社ウェッジホールディングス  
個人投資家向け会社説明会

2009年2月14日

株式会社ウェッジホールディングス  
代表取締役社長 田代 宗雄

# Contents

## ■ ウェッジHDのご紹介

企業概要

3つの事業セグメント

グループ一覧

グループ沿革

2007年までの経営課題

一年の改革をへて黒字転換

## ■ ウェッジHDグループ

### 主要事業のご紹介

株式会社ウェッジホールディングス

株式会社エンジン

株式会社エースデューズ

株式会社スピニング

グループリース社(持分適用会社)

## ■ 2009年9月期第1四半期の 経営成績について

第1四半期の業績について

各事業セグメントの概況

## ■ ウェッジHDグループの事業特性 と今後の見通し

ウェッジHDグループの強み

2009年9月期通期連結業績予想

株主還元についての方針

Creative Stage へ

# ウェッジHDのご紹介

# 企業概要

- 会社名: 株式会社ウェッジホールディングス  
(英語表記: Wedge Holdings CO., LTD.)

設立: 2001年10月(株式会社ブレインナビ)

資本金: 769,140,900円

代表者: 代表取締役社長 田代 宗雄

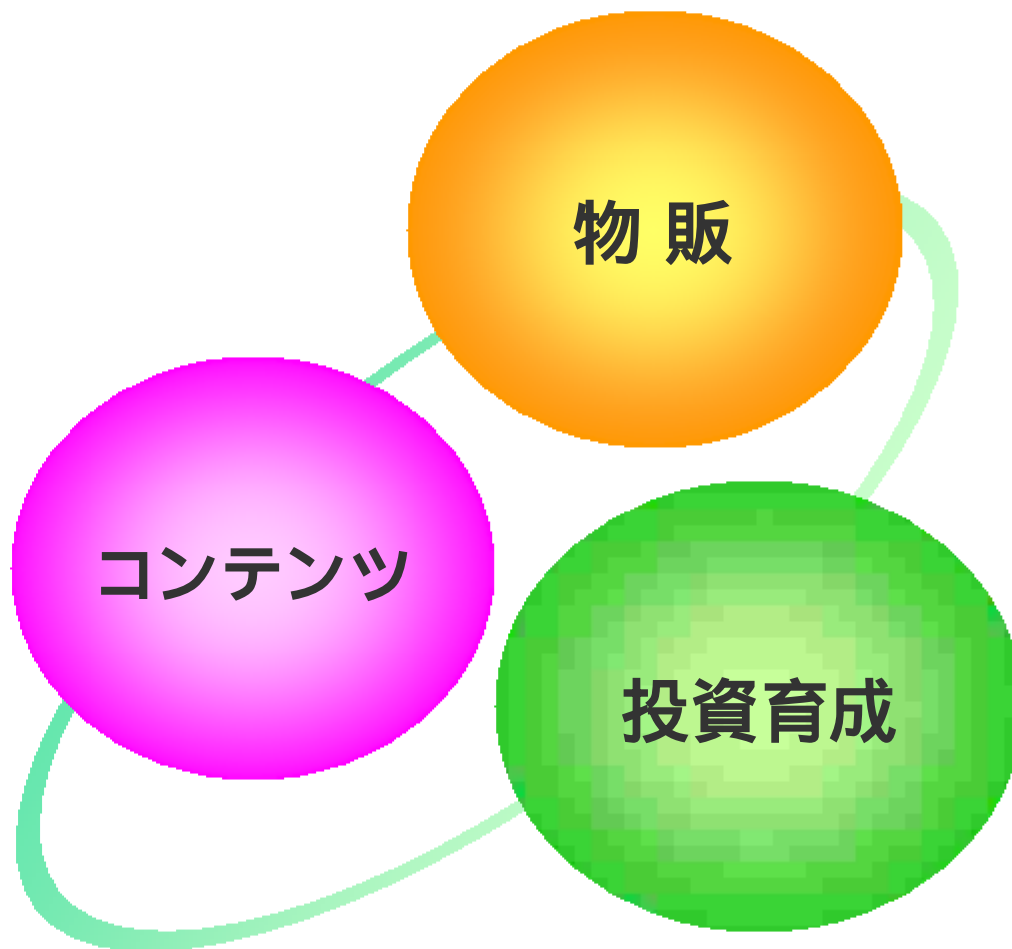
本社所在地: 東京都千代田区神田錦町一丁目1番地 神田橋安田ビル4階

## グループ会社

- ◆ 株式会社エンジン(完全子会社)
- ◆ 株式会社エースデュース(完全子会社)
- ◆ 株式会社ラディクスモバニメーション(完全子会社)
- ◆ 株式会社スピニング(完全子会社)
- ◆ Group Lease PCL(グループリース社:持分法適用会社 タイ王国一部上場)

グループ役職員数 114名 (2009年1月末現在・持分法適用会社は除く)

# 3つの事業セグメント



## ■ 物販事業

キャラクター関連商品事業  
商品企画開発

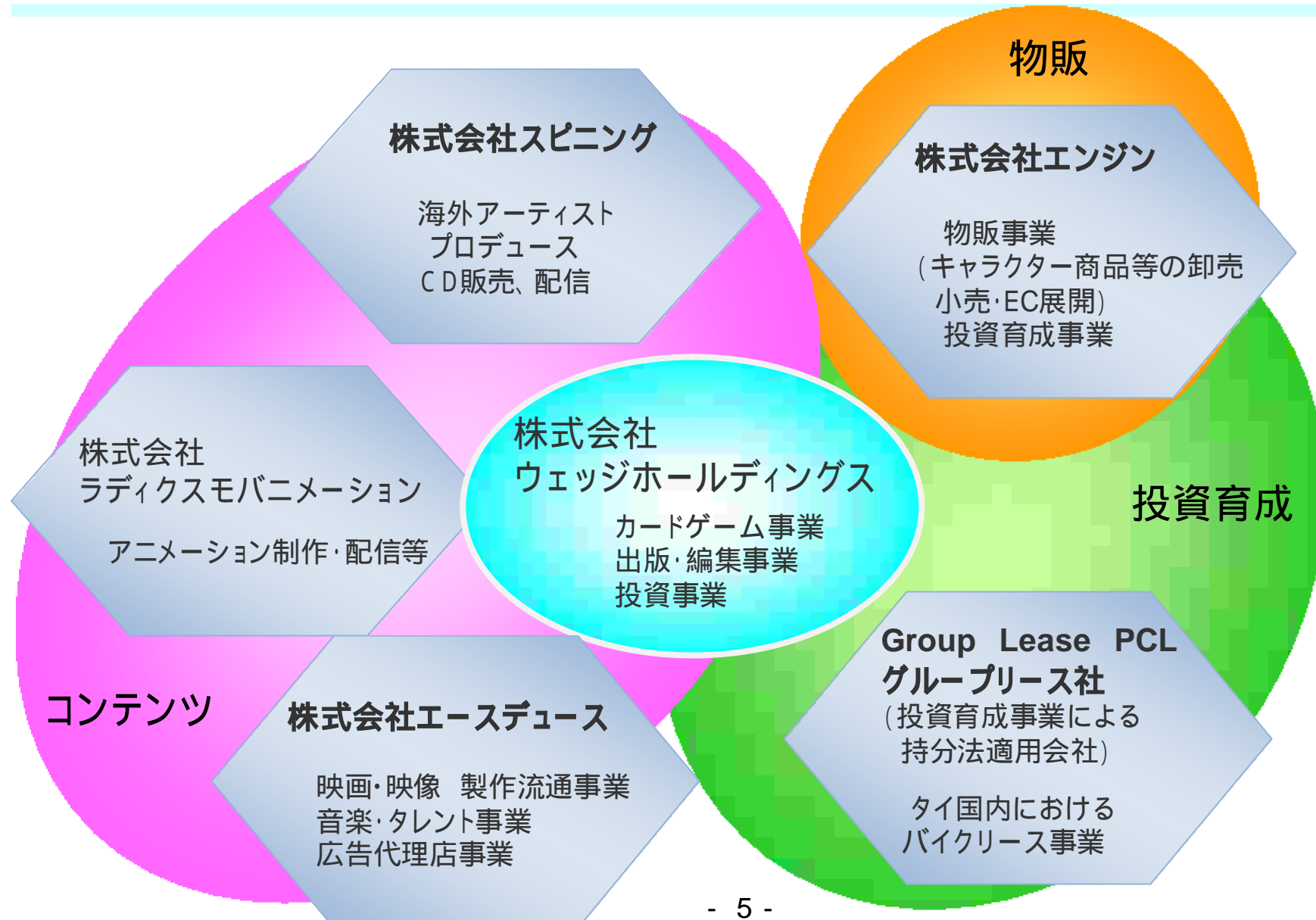
## ■ コンテンツ事業

編集・出版・映画・アニメーション  
音楽・タレント・メディア関連事業

## ■ 投資育成事業

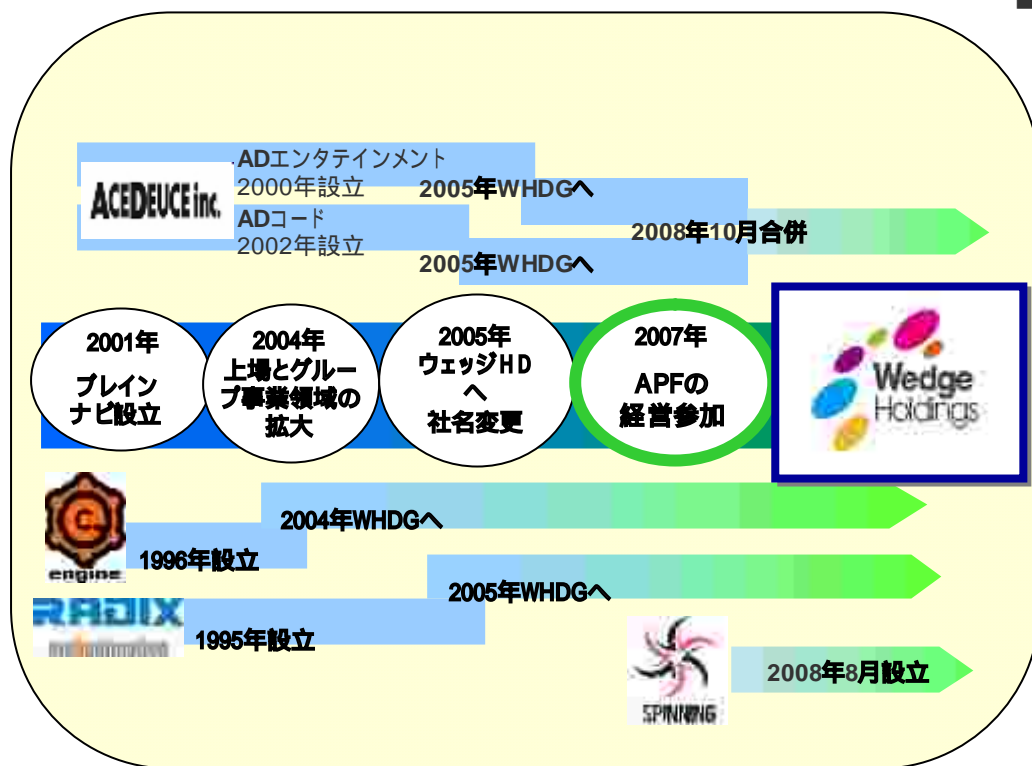
投資組合運営事業  
国内外への投資事業

# グループ企業一覧



# グループ沿革

## コンテンツ事業での創業から 上場を機に 物販事業・投資事業を加えて三事業体制で展開



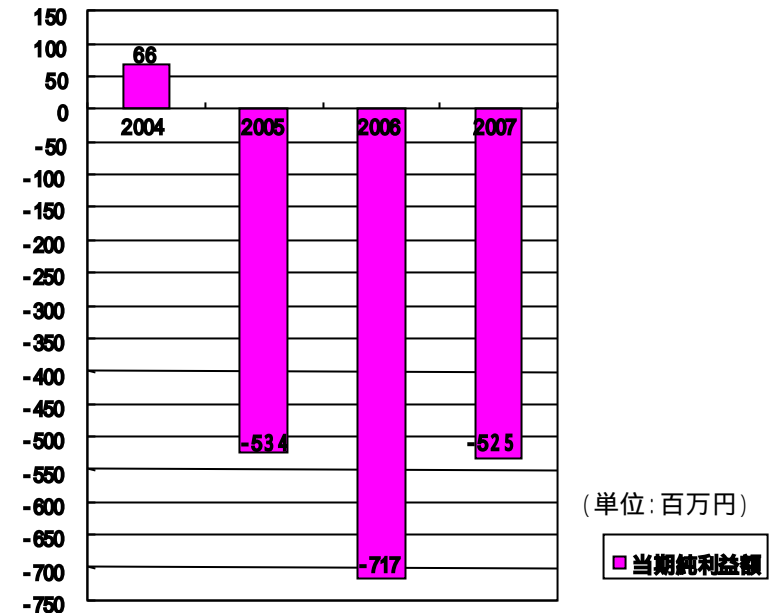
### ■ グループ沿革

- 2001年10月 株式会社ブレインナビ設立
- 2001年11月 原稿事業、出版事業、その他事業を開始
- 2003年11月 本社を東京都千代田区に移転
- 2004年1月 大阪証券取引所へラクス市場に株式上場、同年から翌2005年にかけて、投資組合の組成、投資会社設立と、株式会社エンジンをはじめとする数社の買収により、グループを組成、コンテンツ、物販、投資の三事業体制となる
- 2005年7月 会社分割により株式会社ウェッジホールディングスとして持ち株会社に移行、その後一部事業の吸収合併により事業持ち株会社化
- 2007年9月 第三者割当増資により、APFグループの明日香野ホールディングス株式会社が筆頭株主に
- 2007年12月 新経営体制にて改革を開始

# 2007年までの経営課題

## 2007年末の経営体制変更まで 3期連続で多額の赤字決算が続く

- 多額の特別損失で継続前提へ疑義  
2004年末の上場以来、3期連続の損失により継続前提に疑義が発生
- 経営管理課題とグループの混乱  
経営管理の不足によるコンテンツ投資の多額の特別損失  
物販事業での在庫評価損の発生  
M & Aを経てグループが拡大するも連結経営体制の整備が不足



## 新経営体制の下 2008年既存マネジメントと協働しながら改革に尽力

- 経営管理: コンテンツ投資評価、法務体制の強化で事故を防ぐ
- 事業支援: 既存事業に本部から挺入れ、シナジー創出へ
- 事業再編: 各種事業の統合と新事業創出

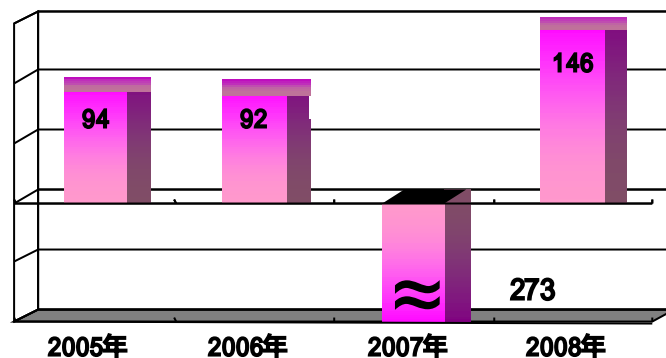
# 1年の改革を経て黒字転換

## ■ 過去4期の連結経営成績

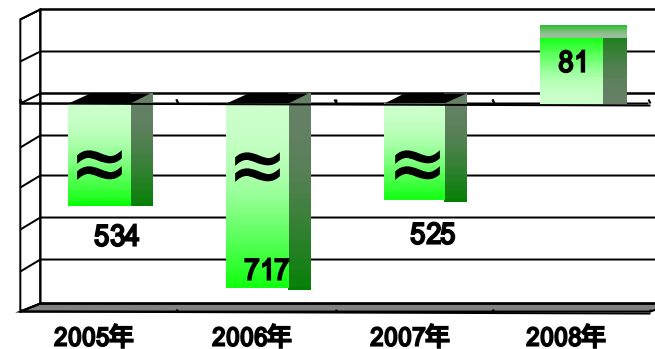
(単位:百万円)

	2005年9月期	2006年9月期	2007年9月期	2008年9月期
売上高	1,337	3,277	2,593	2,139
営業利益	94	96	265	62
経常利益	94	92	273	146
当期純利益	534	717	525	81

【経常利益】



【当期純利益】



約1年の改革により 4期ぶりに黒字転換  
継続疑義も解消し 新たな成長段階へ

ウェッジHDグループ  
主要事業のご紹介

# 株式会社ウェッジホールディングス(コンテンツ事業)

## ■ カードゲーム事業

トレーディングカードゲームの企画・制作コンサルティング  
大手玩具メーカー・出版社等を顧客に、制作収入・ロイヤリティ収入による  
付加価値の高い事業を展開



## ■ 出版・編集事業

エンターテインメント領域の編集プロダクションとして大手出版社を中心とした  
顧客と安定取引を継続、自社出版も開始



カードゲーム攻略関連商品・書籍



収益性の高いカードゲーム事業が好調を維持

# 株式会社エンジン (物販事業)

## ■ 物販事業

海外輸入玩具を中心とした輸入販売、販売代理店

インターネット通販および実店舗による販売

消費者リクエストサイト「たのみこむ」を中心にした商品企画・通販、OEM事業



「bLiSTER」原宿店



インターネット通販サイト「bLiSTER DIRECT」



「たのみこむ」

2008年で不良在庫を一掃し体質改善 損失幅は大幅に縮小  
物販事業の集約を経て 今期で黒字化を図る

# 株式会社エースデューズ

(コンテンツ事業 ディストリビューション部門)

## ■ 映画・映像 製作・流通事業

映画・映像作品の企画、製作、販売事業

**ACEDEUCE inc.**



劇場公開作品  
『春琴抄』



DVD作品  
『桐山漣 プライベートジャーニー  
in ベトナム メコン編』



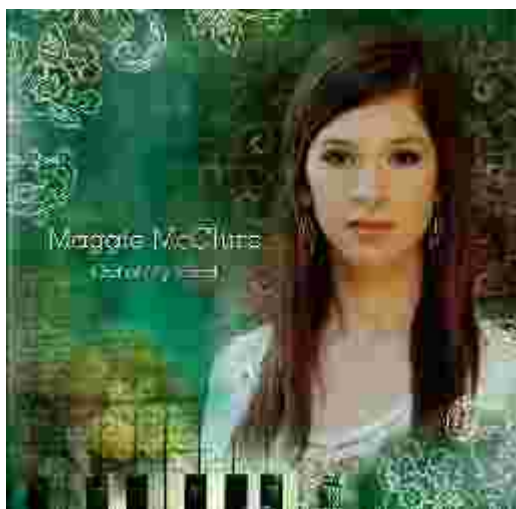
劇場公開作品  
『花嫁は18歳』

コア層に向けた収益安定性の高い小規模作品に強み  
2008年 作品投資を増加・回収を期待

# 株式会社スピニング (コンテンツ事業)

## ■ 音楽事業

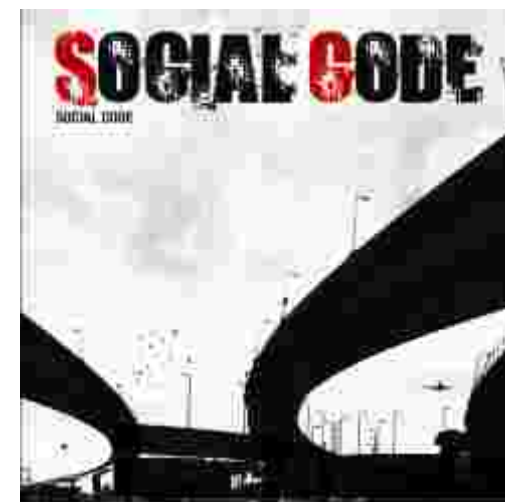
海外アーティストの日本国内でのプロデュース  
PRから音楽CD販売、音楽配信



マギー マクルーア  
『Out of My Mind』



ライズアゲイン  
『INTO EXISTENCE』



ソーシャルコード  
『Patiently Waiting』

2008年設立の新会社 コンスタントに作品をリリース中

# グループリース社(株)エンジン投資事業による持分法適用会社

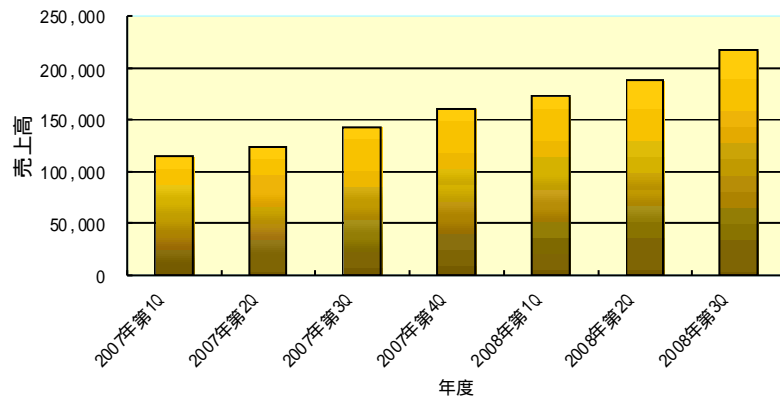
## ■ タイにおけるバイクリース事業で高収益ビジネスを確立

タイ証券取引所一部上場企業

経済情勢変動の中、バイクリース事業は安定的に推移、かつ

自動車ユーザーの回帰傾向による需要増が顕著

Group Lease PCL 売上高推移



<グループリース社>

タイ一部証券市場上場 コード GL

ホームページ(英語) <http://www.grouplease.co.th/en/index.html>

不況下でも急成長 高収益を続ける上場企業  
今後も利益貢献に期待

2009年9月期第1四半期の  
経営成績について

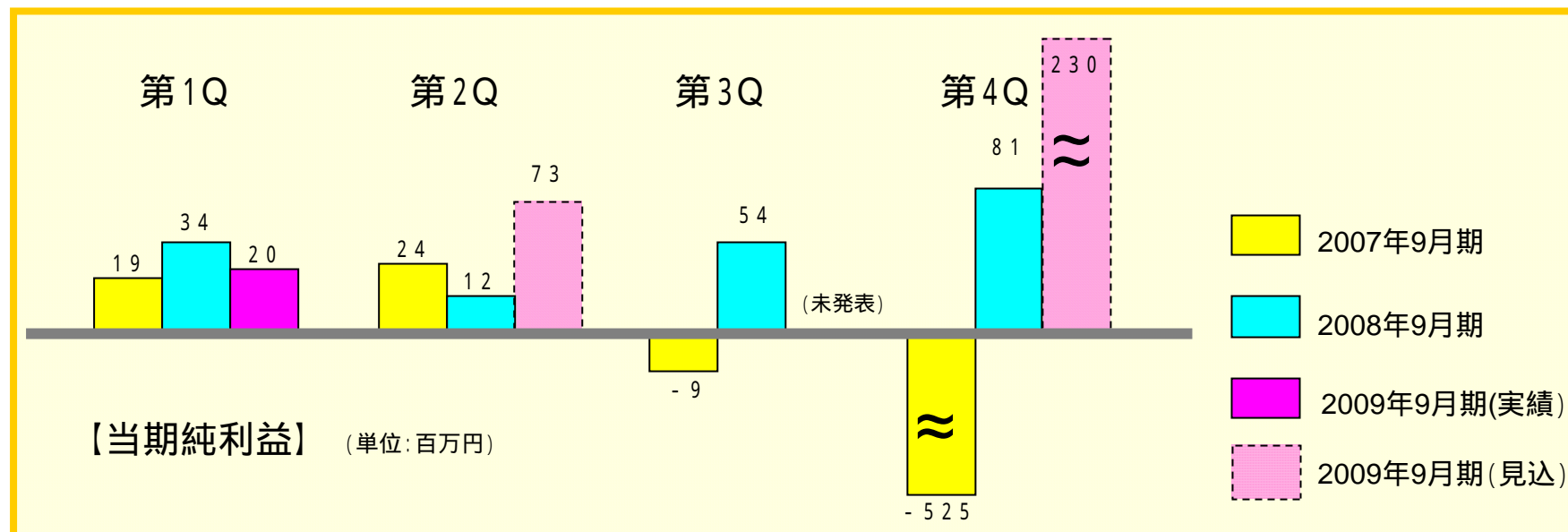
# 第1四半期の業績進捗について

## 売上進捗の遅れが響くも 持分法適用利益の成長で黒字を確保

### ■ 連結経営成績

(単位:百万円)

	2009年9月期 第1四半期	2008年9月期 第1四半期(参考)	対前年比	2009年9月期 第2四半期(予想)	進捗率
売上高	438	540	81.1%	1100	39.8%
営業利益	-16	45	-	34	-
経常利益	23	42	54.8%	95	24.2%
当期純利益	20	34	58.8%	73	27.4%



# 各事業セグメントの概況

物販・コンテンツの未達を投資育成が補いポートフォリオ強化が奏功

## 物販

売上高1億47百万円  
営業利益 17百万円



クリスマス商戦で大型商品に入荷遅れが発生、赤字に前期の事業集約の成果でたのみこむ事業の採算が改善

## コンテンツ

売上高2億79百万円  
営業利益 5百万円

ACEDEUCE inc.



SPINNING



新規事業として取り組んだ作品の売上が伸び悩むカードゲーム事業は計画通りの成長。収益を支える

## 投資育成

売上高11百万円  
営業利益3百万円  
持分法適用利益  
39百万円



グループリースの持分法適用利益は大幅に拡大、経常利益に大きく寄与

# ウェッジHDグループの 事業特性と今後の見通し

# ウェッジHDグループの強み

1年余りの改革を経て グループの強みを継続強化

不況への耐性が強い事業の特性

強化された本部機能と  
事業ポートフォリオによる収益安定性

# 不況への耐性が強い事業の特性

変動が少ない「コアマーケット」にフォーカスしたコンテンツ・物販事業  
もともとコンテンツ・物販共に、小規模市場ながら一定の  
マニア等コア層の購買が見込まれる作品・商品に強みをもつ事業  
経済環境悪化の影響は、現時点で相対的に非常に少ない

## 不況をチャンスと捉える投資育成事業

グループリース社の営むバイクリース事業は、不況下で市場拡大が加速  
(自動車の買い控えが追い風に。2008年はタイのオートバイ新車販売は  
7%成長、特に08年12月は前年同月比12%増など拡大傾向)  
収益性の高い事業を獲得できる機会も増加。投資育成事業は  
積極的に拡大を図りやすい環境に

**経済環境の悪化に守りと攻めの両面に対応 収益拡大を目指す**

## 強化された事業ポートフォリオと 本部機能による収益安定性

- 3つの経営改革による改善を今後も継続
  - 経営管理: 投資評価、法務強化等で回収率・収益性が大幅向上
  - 事業支援: 事業の挺入れを継続して実施、シナジー創出へ
  - 事業再編: 新事業の増加、各種事業の統廃合による事業強化
- ポートフォリオの改善
  - カードゲーム事業の成長によるコンテンツ事業の収益性向上
  - 投資育成事業の拡大による収益安定化
- 本部機能の強化
  - 経営管理・事業開発の二本部体制が定着
  - 連結経営体制強化と新規事業のインキュベーションに一層の注力

**リスクマネジメントと収益安定化に成果 今後も改善を継続**

# 2009年9月期通期連結業績予想

## 業績予想は変更なし 純利益の前期比大幅向上を見込む

(単位:百万円)

	2009年9月期 (予想)	2008年9月期 (参考)	対前年比
売上高	2,400	2,139	112.2%
営業利益	100	62	161.3%
経常利益	250	146	171.2%
当期純利益	230	81	282.1%

- 前期の投資の回収から、売上も向上を見込む
- 収益性の高いカードゲーム事業の好調は継続中
- グループリース社の持分法適用利益は通年で適用され、4半期毎に経常利益、当期純利益を大幅に押し上げる見込み

# 株主還元についての方針

## ■ 経営改革の途上ながら、収益安定化は進展

当面は業績拡大を背景にした株価の回復を目指す  
持分法適用利益や配当収入・ロイヤリティ収入の拡大など  
収益構造の安定化は進展

課題は個別事業規模の拡大による安定性向上と、今後の  
更なる投資拡大に向けた資金調達

## ■ 一層の収益拡大と、早期の株主還元実施を目指す

利益剰余金の欠損は解消済み、業績と財務状況を考慮して  
早期の復配を目指す

株主優待: グループの資源を活用した施策を検討中

# Creative Stage ^

私たちは Creative Stage Company として  
世界の才能が最高に活躍する舞台を創出し続けます。

- 世界市場に向けた新しい日本の成長を支えるステージへ
- 若い才能、創造性が成長するステージへ
- 企業経営により社会に貢献できるステージへ





# ご清聴ありがとうございました

弊社IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウェッジホールディングス  
経営管理本部

TEL: 03-5217-0721

FAX: 03-5217-0722

[wedge-ir@wedge-hd.com](mailto:wedge-ir@wedge-hd.com)

弊社ホームページ: <http://www.wedge-hd.com/>

本資料には将来に関する記述が含まれていますが、これらの記述は将来の業績を保障するものではありません。また、本資料の内容に関しては未監査であり、その内容の正確性および確実性を保障するものではありません。